

2020/12/7-2

(うとQ世話し「耐」の字 (Then) Stay here little bit more )

以下のお話は、言葉のイメージ遊びみたいなものです。あまり深く考えたり、厳密に考えたりしないでくださいね。

「忍耐」という字を見ると、いやあな気分になる方もいらっしゃるかと思います。

ところが「耐性 (がある)」と言われたとすると、まんざらではない気もするのではないのでしょうか。

処がよく見ると「忍耐」と「耐性」には、同じ「耐」という字が使われていることに気づきます。

この「耐」という字は「而」と「寸」の構成で成り立っています。

前の「而」は「しこうして」と読み、意味は「そして、それに加えて」です。

つまり「追加の連なり」を表しています。

(英語にすると and, then と additionally でしょうか)

「寸」の字は、前に「一」をつけると分かり易くなります。即ち

「一寸」と書いて「ちょっと」と読み「今少し」に近い意味になります。

(同じく little bit more でしょうか)

で、これら言葉の部品を組み立てたものを英「文」にしてみるともっと分かり易くなります。

(Then) Stay here little bit more (ついでだから) もうちょっと、ここに留まりなさいな) の意味になります。

つまり「耐性」の「耐」が顕しているのは(then) Stay here little bit more(大変だろうけど、ついでだから、もう少しここで踏ん張ってみなさいな) という意味になり「耐性」の「性」はその力があるという意味を表していそうです。

つまり、下腹に力を入れて「ごっちごち」になるような大げさなことでは全くなく

「もうちょっとその先まで (行ってみようよ)」位の

「(騙しだましでいいから) あと1メートルだけ、ねっ!!」

くらいの話でしかないような気が致します。

本日は毒にも薬にもならない、お話しでした。

おわり。